

# 協働でひらくこれからのまちづくり

市で積極的に取り組んでいる「協働のまちづくり」。

今月号では、「登米市地域協働ミーティング（対話集会）」の様子と、先月号に引き続き各地域の取り組みについて紹介します。



▲市の協働キャラクター「とめ丸」

## 市内9会場で開催し 延べ400人が参加

「協働でひらく、これからのまちづくり」をテーマに、7月22日から8月21日まで市内の9会場で開催された地域協働ミーティング（対話集会）を開催しました。



意見交換をする市長と山田副学長【南方会場 7月22日】

これは、市民皆さんの身近な生活にかかわることや地域の課題の解決に向けて、市民一人一人がまちづくりに関心を持ち、主体的に参加・参画しようという意識の向上を目的に開催され、9会場で延べ400人を超える皆さんが参加しました。

各会場では、コミュニティの調査研究を行っている宮城大学副学長の山田晴義さんによる講話や、各町域でまちづくりに取り組んでいる実践者からの事例発表などのほか、山田副学長をコーディネーターに市民皆さんと市長がまちづくりに関する意見交換を行いました。

## 住みよい地域づくりと 地域コミュニティの役割

山田副学長からは、近年、自立と協働がより求められる時代になってきていることや、なぜ求められるのか、住みよい地域づくりと地域コミュニティの役割」と題した講演が行われ、新たな自立と協働の取り組みへの必要性が話されました。

講話では、静岡県浜松市天竜区熊地区の活動が紹介され、地区の女性の皆さんが取り組んでいたコミュニティ活動が、最終的には連合町内会によるNPO法人の立ち上げとなり、食堂の経営やデイハウスの運営など、コミュニティビジネスとして成功を収めている具体的な事例や、柴田町の住民自治基本条例制定に向け、住民が主体となって取り組んでいる事例などが紹介されました。

## 多くの意見が出された 対話集会

実践発表では、各町域で地域協働まちづくり事業や地域



対話集会の様子【中田会場 8月19日】

づくりに取り組んでいる皆さんや、コミュニティ組織の代表者などから活動の報告や活動などの課題について発表が行われました（概要は表1）。

また、市民皆さんと市長との対話集会では、参加者から自分を取り組んでいる活動の紹介や、これからのまちづくりに関する課題などについて意見が出されたほか、山田副学長から先進事例を交えたアドバイスを受けながら、これからのまちづくりに関する多くの意見が交わされました。

各会場で行われた対話集会の内容の一部を要約して紹介します。

●団体相互のつながりが重要であり、コミュニケーションをうまく取ることが大切だと思います。（山田副学長）

◆遠沢地区の住民で休耕田を利用してメダカや昆虫などを増やす取り組みを行っている。常に新たな活動に取り組み、長く活動していきたい。

●興味を持って楽しみながらかかわることが大事。世代間の交流や、情報共有を行うことで活動に広がりが出ると思います。（市長）

◆米山会場【8月1日】

◆協働を進めるためには、人材育成が必要だと思う。

●地域次世代リーダー養成講座を企画しているので、利用していただきたい。（市長）

◆津山会場【8月6日】

◆協働のまちづくりについての情報が不足している。市民に伝える工夫が必要である。

●伝達の工夫も重要だが、知り得た情報を共有し、意見を出し合い、より良い方向に向かうというスタンスが大事だと思います。（山田副学長）

◆登米会場【8月8日】

◆かつて公園だった荒地を借り、資材を持ち寄ってパークゴルフ場を整備したが、維持管理費が掛かるので苦労して

(表1)

会場	実践発表の内容（発表の概要と発表者）
南方	防犯指導隊、交通指導隊など各種団体が連携・協力して行う、安心・安全な地域づくりの取り組みについて 【南方協働のまちづくり検討部会長 大久保榮志さん】
石越	一人暮らしの高齢者への生活支援を行う「石越地域在宅要援護者生活支援ネットワーク事業」の取り組みについて 【長根行政区長 金 輝彦さん】
米山	善王寺・桜岡地区コミュニティ推進協議会による平筒沼周辺の除草作業などの環境整備事業の取り組みについて 【桜岡地区コミュニティ推進協議会長 高橋正司さん】
津山	横山地区での地域住民が主体となって、利用されていない桑園の伐採・抜根を行い、花などを植栽する取り組みについて 【津山地区まちづくり推進協議会長 佐々木光榮さん】
登米	登米町の歴史や文化、観光施設など地域のもつ魅力を案内を通じて広く観光客に紹介する観光ガイド育成の取り組みについて 【みやぎの明治村とよま観光案内人倶楽部代表 中澤さち子さん】
豊里	防犯指導隊、交通指導隊、PTA、地域住民などが協力して行う地域安全安心パトロールへの取り組みについて 【豊里地域安全安心防犯パトロール副会長 佐藤良吾さん】
中田	中田町域のコミュニティが組織された経緯や活動の状況、地域コミュニティの在り方について 【宝江コミュニティ運営協議会長 佐竹春男さん】
迫	「森風おこし行動隊」「おいとこ踊り大会」など若い世代との地域づくりや、交流による地域活性化への取り組みについて 【森地区コミュニティ推進協議会長 米倉 啓さん】
東和	東和町吉田地区の農地に農機具などを洗浄できる洗い場や、住民の憩いの場を手づくりで設置する取り組みについて 【吉田水利組組合長 及川信代さん】

いる。

●活動をしていくと限界を感じることもある。しかし、悩みを共有し、みんなで工夫して取り組むことが協働のまちづくりで一番大事なことだと思います。（山田副学長）

◆豊里会場【8月18日】

◆若者からお年寄りまで広い年代で協力し、地域を盛り上げようとする場合、どのような方法があるのか。

●各年代が共通して関心を持っている物事に関して話し合う機会を持つことがまず大事だと思います。（山田副学長）

◆中田会場【8月19日】

◆協働のまちづくり市民会議委員に委嘱され活動している市の良いところを伝えていきたい。11月に協働のフォーラムが開催されるので、自発的な活動をアピールしたい。

●いろいろな人に情報を発信

して、課題解決に向けた話し合いの場をつくるとよいと思います。（山田副学長）

◆迫会場【8月20日】

◆若者が気軽に参加できる事業の開催や、そのような事業の企画についてはどのようになっているのか。

●子育て中の人を対象とした交流の場として「こんにちは赤ちゃんサロン」を開催しています。その中から自主的な

活動も生まれてきています。市も考えますが、多くの皆さんから提案をいただきたいと思っています。（市長）

◆東和会場【8月21日】

◆地域活動に女性・青年・壮年の参加が少ない。各地域のパワーとなる人達が参加することで、地域が活性化することではないか。

●腰を据えて考えていく課題であり、課題解決には情報提

供が重要になってくるものと思います。（山田副学長）

※地域協働ミーティング（対話集会）の詳細については、報告書を作成して各総合支所や公民館に設置します。また、市ホームページ「市民協働コーナー」でも閲覧できます。（10月上旬予定）

【問い合わせ】

企画部市民活動支援課  
☎0220（22）2173

## 紹介します 各地域の取り組み

先月号に引き続き、今月は米山町で取り組んでいる事業を紹介します。

### 米山町平筒沼環境整備事業

米山町の平筒沼ふれあい公園は水と緑に囲まれた自然豊かな公園で、来園者の憩いの場として多くの人に親しまれています。

この環境を維持しようと桜岡地区と善王寺地区の両コミュニティ推進協議会が中心となり、平筒沼ふれあい公園の除草や清掃など、周辺の環境整備を住民が自ら行っています。



除草作業に汗を流す協議会の皆さん

やウオーキングなどで多くの方が訪れる「平筒沼こいの森」で春に除草作業を行い、清掃後にコースを散策した皆さんからは「景色が良くなった」「コースが整然となり歩きやすくなった」などと喜びの声が聞かれました。両協議会では、秋にも作業を予定しています。